

2023年8月30日

日本船主協会 海事人材部

次世代を担う学生に商船学科を紹介

～2023年度国立高等専門学校(商船学科)5校合同進学ガイダンス～

日本船主協会では、2008年7月より人材確保タスクフォースを結成し、優秀な日本人海技者確保のための広報活動をしております。その一環として、海技者というキャリアパスを若い世代に広く意識してもらうべく、国立高等専門学校(商船学科)5校合同進学ガイダンスを、4年ぶりに対面方式により神戸(7月29日/三宮コンベンションセンター)、横浜(8月26日/ナビオス横浜)の2会場において開催しました。

本取り組みは、商船学科のある国立高等専門学校(以下商船系高専)5校(富山高専、鳥羽商船高専、広島商船高専、大島商船高専、弓削商船高専)と連携して実施しており、今回で15回目の開催となりました。なお、本年度は新型コロナウイルス感染症が落ち着いていることから4年ぶりの対面開催となりました。

各会場では、当協会より、日本の海運の概要と海技者の重要性を紹介したほか、神戸会場では当協会の越水常務理事、横浜会場では当協会の土屋副会長がそれぞれ挨拶を行い、参加中学生が将来の選択肢の一つとして海技者を目指すことに大きな期待を寄せました。

商船系高専の教員方からは、入学後のカリキュラム、学習内容、学校生活、卒業後の進路等の説明が行われました。

続いて、商船系高専卒業生であり海運業界で活躍する若手甲板員と機関士が商船系高専へ進学した動機、学生生活、就職後の業務内容、休暇の過ごし方等を写真と共に紹介しました。

講演後には、各校ごとにブースを設け、各校の先生、学生、卒業生と参加者が熱心に情報交換を行いました。

人材確保タスクフォースは、今後も商船系高専をはじめとした海事系教育機関や海運業界の認知度向上および海事人材確保の一助となるよう、関連機関と協力して幅広い活動を継続して行きます。

各会場参加者(計143名)内訳 神戸会場:74名(中学生30名 保護者等44名) 横浜会場:69名(中学生26名 保護者等43名)	高専卒業生の皆様 神戸会場・横浜会場(共通) 全日本海員組合 藤澤映歩 執行部員 (富山高等専門学校航海コース卒業) 全日本海員組合 坂上桐乙 執行部員 (鳥羽商船高等専門学校機関コース卒業)
商船系高専 全体説明を担当していただいた先生 神戸会場:鳥羽商船高等専門学校 窪田祥朗 教授 横浜会場:大島商船高等専門学校 久保田崇 教授	



7/29 神戸会場全体の様子



8/26 横浜会場全体の様子



講演をする藤澤映歩さん(神戸・横浜)



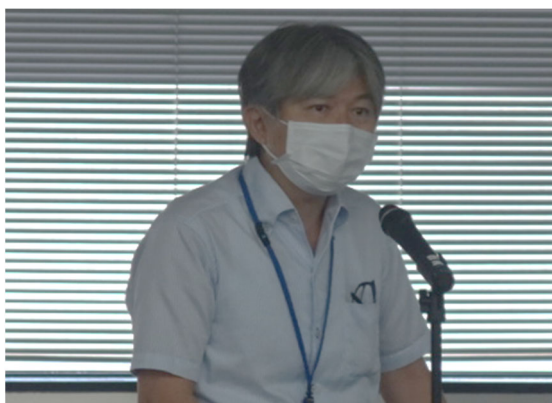
講演をする坂上桐乙さん(神戸・横浜)



挨拶をする越水常務理事(神戸)



挨拶をする土屋副会長(横浜)



講演をする窪田教授(神戸)



講演をする久保田教授(横浜)